

PRA（進行性網膜萎縮症）とは

網膜は、外からの光を吸収して集約し、電気信号として脳に伝える役割を持っています。
PRAはこの網膜に障害が起き、視力低下を引き起こす疾患です。**最終的には失明してしまいます。**
原因は多くが遺伝的なものと考えられていますが、代謝性疾患や炎症などによっても引き起こされます。
ミニチュアダックスフンドやカニヘンダックスフンド、トイプードルの子たちに多く見られます。

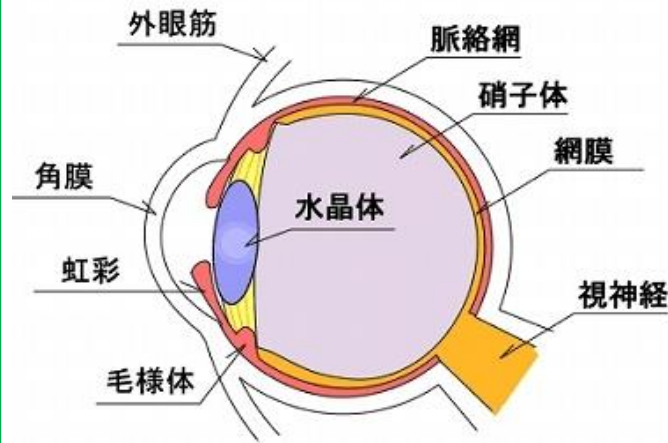
《症状》

初期は夜盲(夜になると見えづらい)症状だけのため、気づきにくいです。

- 暗くなると段差でつまずく、物にぶつかる
- 夜の散歩を嫌がる、怖がる
- 暗い場所に行こうとしない
- ↓ 進行すると…
- 不安そうに側にいる
- 明るい時でも段差でつまずく、物にぶつかる
- 歩いていて物にぶつかる
- 急に触られると過剰にびっくりする
- 食事や飲水の時に器を探す仕草をする

「早発型」という症状の発現が早いタイプでは2歳までに失明してしまう場合があります。

「遅発型」でも4～6歳くらいから症状が見られます。



《治療》

残念ながら視力を回復させることは出来ず、最終的には失明に至ります。
網膜の変性を抑制するためにビタミンEなどのサプリメント等が使用される場合もあります。

《お家でできること》

わんちゃんは視覚を失っても優れた嗅覚や聴覚で生活をすることができます。
しかし生活するうえで不自由が無いとは言えません。暮らしやすいように、以下のポイントを抑えましょう。

◆ 食事・飲水の補助

手からごはんをあげたり、スプーンで口元に運んであげたりと気づきやすいようにしてあげましょう。
お皿の場所は極力変えないようにしましょう。

◆ 家具の工夫

視覚があったときの記憶で、家具を避けたりできる子が多いです。
大幅な模様替えは避けましょう。
また、危ない角がある場合は保護剤で守ってあげましょう。

◆ 触れる時の工夫

急に触られるとびっくりしてしまい、時には噛みついてしまうこともあります。
声をかけてから触る、手足や顔周りなど敏感なところは避けるなど気を付けてあげましょう。